

飲水思源

町長

松岡市郎

「写真の町」応援者、福原義春氏と人の輪

TBSテレビ系列で放送されているニュース番組、「ニュース23」のキャスターであった故筑紫哲也さんが健在のころ、「東京都写真美術館館長の福原義春さん（現資生堂名誉会長）などと写真談議をやりたいね」と話題になったことがあった。福原さんは、当時資生堂の社長を経て会長になり、財界活動はもとより、企業メセナ協議会の設立、運営、東京芸術文化評議会の会長を務めるなど遠い存在。まさか私たちが直接お会いできることになるとは、とは考えも及ばなかった。

2006（平成18）年、多くの皆さまのご支援をいただき、東京都写真美術館で「『写真の町』東川賞海外作家コレクション展」20年の軌跡を開いた。「価値ある財産を町に眠らせてはもったいない。最高の場所で写真展をやるう」がきっかけだった。そのレセプションには、なんと福原氏が駆けつけ、お祝いのメッセージとともに最後までお付き合いをいただいたのだ。

本当に気さくな方であると驚いた。「ひがしかわ株主」にも出資いただき、「写真の町」東川町をPRしてくださいとお願いしている。わが町が受賞した文化庁長官表彰も福原氏の推薦によるものだった。不思議なもので、一つの出会いはまた次の出会いへと発展していく。先日、福

原さんから「北海道に『写真の町』東川町というおもしろい町がある。行って見て来なさい」と紹介を受けたと言って、翻訳家、和爾（わに）桃子さんが来町された。

和爾さんが住んでおられる東京都内のマンションの近くに、懇意にしているお魚屋さんがあり、「私、北海道の東川へ行つてきます」と伝えたら、「えっ、東川町は私のふるさと」という話が出て驚いたという。

話を聞いてみると、何と私の中学校同期の方のご息だった。今度は私が驚いた。東川から都市へ向かった人々が頑張っているのを聞くとうれしくなる。郷土の私たちも、と元氣とやる気が湧いてくる。

和爾さんは仲間と呼びかけ、「図書を贈る運動」を展開している。家庭で眠っている本を宝物へと変えよう、という活動だ。さつそく3人の方から数百冊が届いた。ありがとうございます。

福原さんからは「文化によるまちづくりが活性化すると書かれた本を送ってくださいました。東川町は今、多様な文化が確実に「人の動き」を生み出し、町全体を活気づけてくれている。人の輪は大切なものである。

文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



武士の家計簿
(映画、DVD)
松竹映画

代々加賀藩の御算用者（経理係）である下級武士の猪山直之は、稼業のそらばんの腕を磨き出せる。しかし親戚つき合い、養育費、冠婚葬祭と、出世のたびに武士の慣習で出費が増え、いつしか家計は火の車。直之は一家の窮地に「家計立て直し」を宣言し、家族一丸となって節約生活を実行する。世間体や時流に惑わされることなく、つましくも堅実に生きた親子の絆と家族愛を描いた物語。(129分)



くまのオットーとえほんのおうち
(絵本)
作/ケイタイク・レミソン 刊/岩崎書店

くまのオットーは、絵本の主人公。ふだんは絵本の中に住んでいます。そんなオットーのとくべつな秘密は、だれも見えないとき、こっそり絵本から出ていけること。家の中を探検しては、おきにりの本をよんだりしていました。ところがある日、家の人たちがオットーをのこしていなくなってしまうのです。オットーは新しいおうちを探そうと旅に出ます。ちいさなくまの大冒険ものがたり。



らくらくカメラ大図鑑
(一般書)
著/鈴木文彦 刊/樞出版社

高級なカメラだけがカメラじゃない！記憶の風景をそのまま撮れたり、使っていて楽しいカメラがあっという間。そんなトイ・カメラ、ロモグラフィカメラなど、アナログ&ローファイなカメラを一同に集め、現在発売されている機種はもちろん、すでに廃版になった機種や数十年前に一世を風びしたトイ・カメラの元祖的な機種まで約500機種を紹介しています。